

作業療法士(OT)の支援内容

Occupational Therapist

作業療法士(OT)ってなに?



子どもたちを社会や人のつながりに参加できるようにするため
作業科学の視点などをもって、
育ちと生活を支援する専門職（国家資格）です。

対象は、0歳から18歳前後までの間に発症し、運動や日常生活能力、学習能力、
社会性などの心身の発達を妨げるような障がいのあるお子さまです。
脳性麻痺、脳外傷、先天性疾患、筋ジストロフィー、知的発達障がい、自閉症など多岐にわたります。

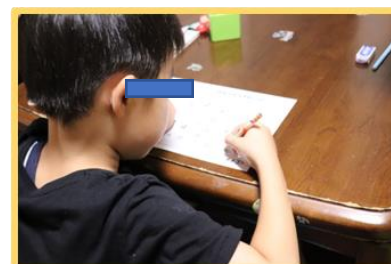
遊び

運動・知的機能、情緒や社会性を遊びの中で育みます。
トランポリンやトンネルといった感覚の遊び、折り紙やパズルや積み木
などの構成の遊びを一緒に行います。



学び

学習や学校生活の土台となる力を育みます。
姿勢を保つ、集中する、道具（えんぴつ、はさみなど）を使う、
複数のことの手順を組み立てる（時間をみながら課題を行う）、
2つのことを同時にする（先生の話聞きながらノートを取る）
練習などを行います。



くらし

食事・排泄・着替え・入浴などの生活動作を安定して行えるようにからだ
（主に手を使う細かい動きや手と目、手と足などを協調させる動作）や
道具（箸・スプーン・フォークなど）をうまく使う力、さらには、思いを伝えあう、
好きなことを見つける、失敗から立ち直るなど社会で人と関わりながら生きていく力を育みます。



大人と違い子供の作業療法は「遊び」と「学び」の領域が中心になります。
体を動かすこと、道具をうまく使うこと、周りでおきていることを理解することや自分を表現すること
（お友達と共通した遊びが行えない、障がいにより対人関係がうまく取れないことでお友達とトラブルを
起こしてしまうことがあります）など子供1人1人の状態に合わせた活動を通し、
「出来た！」の成功体験を積み重ね発達を促します。

気になることがありましたら、
どうぞお気軽に
お問合せください。(*^-^*)



いきいき SUN 訪問看護リハビリステーション谷中支店